

研究課題名	シャーガス病対策推進のための統合的なヘルスシステム強化に関する研究開発		貢献する 主な SDGs	
研究代表者 (所属機関・役職)	平山 謙二 (長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授)		研究期間	5 年間
相手国	ボリビア多民族国	主要相手国 研究機関	ガブリエルルネモレノ自治大学	
研究課題の概要				
ボリビアでは推定 60～180 万人が、顧みられない熱帯病（NTDs）の一つであるシャーガス病に感染しています。心不全や突然死を引き起こす重篤なこの感染症は、流行状況が把握しにくく、検査・治療へのアクセスも限られ、新薬開発も遅れています。ボリビアでは年間 25 万人の妊産婦のうち約 12%、約 3 万人が慢性感染者であり、母子感染の早期診断・治療は急務です。長崎大学とガブリエルルネモレノ自治大学は、まず診断法の普及を第一目標に掲げ、妊産婦登録から乳幼児治療・成人の合併症予防までをデジタルデータで可視化・一元管理します。遺伝子診断や診療データを活用した費用対効果の高い治療指針を策定し、シャーガス病対策の国家プログラム普及と政策立案につなげます。				